

市議会だより

第 82 号

R 2.1.15 発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより編集委員会

TEL：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

HP：http://www.city.iiyama.ngano.jp/gikai/
E-mail：gikai@city.iiyama.nagano.jp

年頭ごあいさつ



議長 澁川芳三

明けましておめでとうございます。昨年は飯山高校が初の甲子園出場という快挙を成し遂げ、市民に夢と希望を与えてくれました。一方、台風第19号災害により生活が一変された市民の皆様も多くおいでになることから、今年こそは平穏な年であってほしいと心から願っています。

令和2年を迎え市政の課題も山積みでありますが、議会として市民の負託にこたえるべく、多くの課題にしっかりと向き取り組んでまいりたいと存じます。

一部に議会の活動が見えないとのご意見もありますが、議員個々ではなく議会活動を通じて市民の皆さんと対話してまいりたいと考えています。そのため、議会では活性化特別委員会の中に二つの分科会を立ち上げ、鋭意検討を重ねています。活性化に向けて取り組む項目がだいぶ固まってきましたので、新年度から可能なものから実施してまいります。

また、活性化特別委員会では、議会基本条例の制定にも取り組んでいます。議会活動、議員活動の基本となる条例のもと、議員全員で議会としての活動をし、情報発信を行ってまいりたいと考えています。

議長といたしまして、市民の皆様が議会に関心を持っていただけるような取り組みを先頭に立って取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりましてより良い年になりますよう、皆様のご健勝を心から祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

賛否が分かれた議案の表決結果

○=賛成 ●=反対

*「長」は委員長のため委員会での表決権はありません。
*「一」は別委員会のため表決権はありません。

議案番号	議案等名	会派名・議員名	政新会					明日の飯山		日本共産党		絆		緑新会			議決結果	
			吉越利明	水野正彦	岸田真紀	西澤一彦	山崎一郎	飯田健一	松本淳一	市川久芳	渡辺美智子	小林喜美治	高山恒夫	上松永林	佐藤正夫	久保田幸治		石田克男
98	令和元年度飯山市一般会計補正予算(第9号)	委員会	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	令和元年度飯山市水道事業会計補正予算(第3号)	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	飯山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	委員会	-	○	-	○	長	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	委員会	-	○	-	○	長	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	委員会	-	○	-	○	長	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
117	専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市一般会計補正予算(第6号)】	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
122	専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市一般会計補正予算(第7号)】	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
129	専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市水道事業会計補正予算(第2号)】	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
130	専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市一般会計補正予算(第8号)】	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
133	令和元年度飯山市一般会計補正予算(第10号)	委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎請願の審議結果

請願	件名	提出者	委員会	本会議
5	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	飯山市教職員組合	継続審査	継続審査
6	エネルギーの地産地消を進めることの請願	なくそう原発飯水岳北の会	不採択	不採択

◎意見書の審議結果 ※ 以下意見書抜粋

意見書第5号 地域医療を守ることを求める意見書 可決(全員一致)

厚生労働省は、地域医療構想の実現のため再編・統合が必要と判断した病院名を公表した。この中には飯山赤十字病院も含まれており、市民に今後の地域医療に対する不安を抱かせることとなっている。公表された病院は全国一律の基準により選定され、当地域が中山間地を多く抱えていることや豪雪地であることなどの地域の特性は全く考慮されていない。

全国的に見ても高齢化率の高い当地域において、病院機能の維持・強化は最重要課題であり、市民が安心して暮らしていくために欠くことのできないものである。国においては、こうした地域の実情を十分に踏まえて地域医療構想の推進に努めるとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して医療サービスを受けられるよう地域医療を守るための支援を拡充するよう強く要請する。

意見書第6号 千曲川・信濃川(飯山・中里間)の「中抜け区間」の解消に向けた見直しを求める意見書 可決(全員一致)

千曲川は国が管理する区間の中に県が管理する、いわゆる「中抜け区間」が存在しており、長年にわたり、国の直轄管理区間に編入するよう要望してきた。河川管理は本来、水系一貫主義が原則であり、国が責任を持って確かな治水対策を行うことが必要である。国においても、平成25年に閣議決定した直轄事業の対象について、地方管理道路・河川の直轄編入を含め、必要な見直しを行うこととしているが、依然として中抜け区間は解消されていない。

よって、国会及び政府において、河川の統一的な方針に基づく改良や維持管理、洪水対応等の適時的確な実施体制を確保するため、千曲川、信濃川(飯山・中里間39.65km)における中抜け区間の解消に向けた見直しを早急に行うよう強く要請する。

◇ 令和元年12月定例会で審議された議案等 ◇

- 【補正予算案10件】**
 ◇令和元年度 飯山市一般会計2件・各特別会計7件・水道事業会計補正予算
- 【条例案6件】**
 ◇飯山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
 ◇地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
 ◇成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例
 ◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市若者・定住住宅条例の一部を改正する条例
 ◇飯山市水道条例の一部を改正する条例
- 【事件案21件】**
 ◇市道路線の認定について
 ◇市道路線の廃止について
 ◇市道路線の変更について
 ◇専決処分事項の承認を求めることについて
【令和元年度 飯山市一般会計4件・各特別会計10件・水道事業会計補正予算】
 ◇専決処分事項の承認を求めることについて
【飯山市介護保険条例の一部を改正する条例】
【飯山市台風第19号災害被災者に対する市税の減免に関する条例】
 ◇工事請負契約の締結について



12月定例会概要

12月定例会は、12月3日から20日までの18日間の日程で日程が開かれました。本定例会では、令和元年度補正予算案および専決処分承認や条例案が提出され、あわせて37件の議案が提出されました。

最終日の本会議においては、各常任委員長から付託された議案等の審査結果の報告を行い、採決の結果、審議された議案はすべて可決・承認されました。

また、議会運営委員会から「地域医療を守ることを求める意見書」および「千曲川・信濃川(飯山・中里間)の「中抜け区間」の解消に向けた見直しを求める意見書」が提出され、採決の結果、全員一致で可決されました。

予算決算常任委員会



予算決算常任委員会審査の様子

総務文教常任委員会

議案第107号 飯山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

【意見】制度実施においては公正な運用を図られるとともに、予想される財政負担増に対し、成果が見えるような行政運営に努められるよう、全職員を意識改革を期待する。

請願第5号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願

・へき地教育振興法が施行されてから60有余年が経過しており、へき地の実情を調査研究する必要がある。全員一致で継続審査と決しました。

請願第6号 エネルギーの地産地消を進めることの請願

・請願趣旨が不明確であるため全員一致で不採択と決しました。
【意見】小水力や太陽光発電、また雪資源を利用するなど、地域のさまざまな自然エネルギーの利用促進について、今後も引き続き検討していくべき。

常任委員会議案審査

委員から出された主な質問および意見と、市からの説明について抜粋して掲載します。

◎子ども育成課

問 特別支援教育支援員配置事業で外国籍児童への学習支援員賃金が計上されているが、外国籍児童数はどのような状況か。

答 飯山小学校へアメリカから2名のほか、外国での生活が長かった児童数名、戸狩小学校へ1名入学している。

議案130号 専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市一般会計補正予算(第8号)】

◎農林課

問 稲わら処分委託料として2300万円、稲わら撤去費補助金として700万円の補正となるが、委託とはどこへ委託するのか。

答 集積所にまとめてある稲わらを産業廃棄物業者へ委託し処分を行う。農家の圃場から集積所までは、農家自身で運んでいただき、それに対して補助金を支払うことになる。

問 処分する稲わらの量は、暫定で約1000m³となる。

議案123号 専決処分事項の承認を求めることについて【令和元年度飯山市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)】

◎まちづくり課

問 城山雨水排水ポンプ場復旧事業について、ポンプの能力を上げることはできないのか。

答 現状復旧となるため、ポンプ能力はそのままとなる。

問 災害復旧の規定で止水対策が認められるのは浸水範囲までの80%ということだが、市の一般財源を投じても、もう少し高くすることは考えられないのか。

答 現在、城山雨水排水ポンプ場のストックマネージメント計画がある。千曲川ハザードマップを基に、今後止水対策を行っていくことになる。止水の扉を設置するには建物の補強が必要となるので、今後の改築耐震補強と併せて検討したい。

◎上下水道課

問 飯山公共下水道の有尾中継ポンプ場が浸水により停止した。今後も浸水が考えられるがその対応は。

答 復旧計画を国、県と協議しながら進めている。対策としては①有尾中継ポンプ場の開口部へ防水板を設置。②電気設備については、地上部へ移設。を考えている。

問 有尾中継ポンプ場の浸水は皿川の越水だけでなく、用水路からの流入もあったのではないのか。

答 用水路についても、考慮しながら計画をしていきたい。

「特別豪雪地帯での安全安心な暮らしを求めて」阿部知事へ要望



長野県特別豪雪地帯指定町村協議会



元年度協議会総会

※この協議会は、積雪が特に多く、積雪により住民の生活に著しい支障を生ずる地域として国から特別豪雪地帯に指定された県内10市町村の議会で構成され、緊密に連携して雪害対策等の推進を図ることを目的として活動しています。会長は飯山市議会議長が務めています。

◎総会

11月12日長野市を会場に、長野県特別豪雪地帯指定地帯市町村協議会協会の令和元年度総会が開催されました。総会では、10市町村議会から、10月に発生した台風19号災害の復旧や、豪雪地帯の道路等整備、安全安心な暮らしの確保に向けた切実な要望が提出され、案件がすべて可決されました。

◎県知事要望

総会の決定を受け、11月26日に本協議会並びに県議会豪雪地帯対策促進議員連盟合同で県知事への要望を行いました。

○飯山市議会の要望事項

- ①住宅除雪支援事業の「玄関先除雪」に対する一世帯当たり回数上限の拡充
- ②中山間地域介護サービス提供体制確保事業の創設
- ③国道292号の古牧橋の架け替え促進
- ④一般県道曾根藤ノ木線の早期改良促進
- ⑤国道403号(中央橋)主要地方道飯山野沢温泉線)の整備促進
- ⑥主要地方道飯山妙高原線の改良促進
- ⑦一般県道牟礼永江線の改良促進
- ⑧一級河川皿川堤防の早期復旧と恒久的な治水事業の推進

○飯山市議会要望事項の県回答

- ①飯山市で実施している「玄関先除雪」について、令和元年度より住宅除雪支援事業として拡充、今年度の実施状況を見て検討したい。
- ②中山間地域での介護サービスが維持できるような国の助成等の事業を踏まえ、新たな市町村支援事業を検討したい。
- ③現在、ルート決定に向け、地元と調整を行っている。
- ④⑦については、引き続き改良促進を図る。
- ⑧決壊した皿川堤防については、大型ブロックによる堤防の盛り立てが完了。護岸を強化するため護岸の前面にブロックを張る工事を実施中。今後は、皿川堤防の嵩上げを検討する。

○阿部知事より総括回答

豪雪地帯に住む皆さんにとっては、毎年のように大雪による災害に見舞われているという認識を持ちながら対策を講じていきたい。「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「台風災害」等、災害対応として行うべき事業は多い。市町村と共に国に対して、財源の確保も含め呼びかけていく。皿川決壊現地を視察した。堤防の嵩上げを取り組んでいくが関係する皆さんの理解協力をお願いしたい。

◎県議会議長陳情

同日、清沢県議会議長へ陳情を行いました。

また、県議会11月定例会において次のとおり採択等されました。

《採択》

- ・豪雪地帯の道路整備等について
 - ・災害復旧について
 - ・豪雪対策事業の充実について
- 《継続審査》
- ・中山間地域における訪問介護サービスの充実について



県議会清沢議長へ陳情書を手渡す飯川議長